

平成 29 年度

長野市各財産区特別会計

決算審査意見書

松代財産区

豊栄財産区

西寺尾本郷財産区

今井財産区

信級財産区

日原財産区

長野市監査委員

30監査第83号  
平成30年9月5日

長野市各財産区  
長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員 鈴木栄一  
同 小澤輝彦  
同 三井経光  
同 池田清

平成29年度長野市各財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された平成29年度長野市各財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

# 目 次

## 平成 29 年度長野市各財産区特別会計決算審査意見

第 1 審査の対象 .....	1
第 2 審査の期間 .....	1
第 3 審査の方法 .....	1
第 4 審査の結果 .....	1
松代財産区特別会計 .....	2
豊栄財産区特別会計 .....	4
西寺尾本郷財産区特別会計 .....	6
今井財産区特別会計 .....	8
信級財産区特別会計 .....	10
日原財産区特別会計 .....	12
第 5 意 見 .....	14

(注) 1 比率 (%) は、原則として小数点以下第二位を四捨五入した。

2 構成比率 (%) は、合計が100となるよう一部調整した。

# 平成 29 年度長野市各財産区特別会計決算審査意見

## 第 1 審査の対象

### 1 平成 29 年度長野市各財産区特別会計の決算

松代財産区特別会計  
豊栄財産区特別会計  
西寺尾本郷財産区特別会計  
今井財産区特別会計  
信級財産区特別会計  
日原財産区特別会計

上記各財産区特別会計歳入歳出決算書

### 2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書  
実質収支に関する調書  
財産に関する調書

## 第 2 審査の期間

平成 30 年 6 月 29 日から 8 月 29 日まで

## 第 3 審査の方法

審査に当たっては、各財産区特別会計の決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

## 第 4 審査の結果

決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

# 松代財産区特別会計

## 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 1,970,802 円に対する歳出決算額は 903,812 円で、歳入歳出差引残額 1,066,990 円が翌年度へ繰り越されている。

### (1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
県支出金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
財産収入	836,000	831,836	831,836	0	0	99.5	100.0
繰越金	436,000	453,962	453,962	0	0	104.1	100.0
繰入金	685,000	685,000	685,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	4	4	0	0	0.2	100.0
<b>合 計</b>	<b>1,960,000</b>	<b>1,970,802</b>	<b>1,970,802</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>100.6</b>	<b>100.0</b>
28年度	1,940,000	1,949,517	1,949,517	0	0	100.5	100.0
比較増減	20,000	21,285	21,285	0	0	0.1 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	101.0	101.1	101.1	—	—	—	—

収入済額は 1,970,802 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、財産収入 831,836 円(構成比率 42.2%)及び繰入金 685,000 円(同 34.8%)である。

### (2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	1,930,000	903,812	0	1,026,188	46.8
予備費	30,000	0	0	30,000	0.0
<b>合 計</b>	<b>1,960,000</b>	<b>903,812</b>	<b>0</b>	<b>1,056,188</b>	<b>46.1</b>
28年度	1,940,000	1,495,555	0	444,445	77.1
比較増減	20,000	△591,743	0	611,743	△31.0ポイント
前年度対比	101.0	60.4	—	237.6	—

支出済額は 903,812 円で、予算現額に対して 46.1%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

不用額は 1,056,188 円で、主なものは総務費である。

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	3,411,494	0	3,411,494	0	0	0
立 木 (m <sup>3</sup> ) (推定蓄積量)	60,766	700	61,466	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	311,200	0	311,200
長野県林業センター	100,000	0	100,000
<b>合 計</b>	<b>411,200</b>	<b>0</b>	<b>411,200</b>

### (2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	24,244,000	△685,000	23,559,000

# 豊栄財産区特別会計

## 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 237,125 円に対する歳出決算額は 13,933 円で、歳入歳出差引残額 223,192 円が翌年度へ繰り越されている。

### (1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	20,000	20,839	20,839	0	0	104.2	100.0
繰越金	204,000	204,284	204,284	0	0	100.1	100.0
分担金及び負担金	12,000	12,000	12,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
<b>合 計</b>	<b>238,000</b>	<b>237,125</b>	<b>237,125</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>99.6</b>	<b>100.0</b>
28年度	222,000	221,304	221,304	0	0	99.7	100.0
比較増減	16,000	15,821	15,821	0	0	△0.1 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	107.2	107.1	107.1	—	—	—	—

収入済額は 237,125 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、繰越金 204,284 円(構成比率 86.2%)である。

### (2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	188,000	13,933	0	174,067	7.4
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
<b>合 計</b>	<b>238,000</b>	<b>13,933</b>	<b>0</b>	<b>224,067</b>	<b>5.9</b>
28年度	222,000	17,020	0	204,980	7.7
比較増減	16,000	△3,087	0	19,087	△1.8ポイント
前年度対比	107.2	81.9	—	109.3	—

支出済額は13,933円で、予算現額に対して5.9%の執行率である。  
 支出済額は、全額総務費である。  
 不用額は224,067円で、主なものは総務費である。

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	225,771	0	225,771	0	0	0
立 木 (m <sup>3</sup> ) (推定蓄積量)	18,594	227	18,821	—	—	—

## 西寺尾本郷財産区特別会計

### 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 587,808 円に対する歳出決算額は 381,105 円で、歳入歳出差引残額 206,703 円が翌年度へ繰り越されている。

#### (1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	31,000	30,431	30,431	0	0	98.2	100.0
繰越金	133,000	153,375	153,375	0	0	115.3	100.0
繰入金	404,000	404,000	404,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
<b>合 計</b>	<b>570,000</b>	<b>587,808</b>	<b>587,808</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>103.1</b>	<b>100.0</b>
28年度	565,000	547,604	547,604	0	0	96.9	100.0
比較増減	5,000	40,204	40,204	0	0	6.2 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	100.9	107.3	107.3	—	—	—	—

収入済額は 587,808 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、繰入金 404,000 円（構成比率 68.7%）である。

#### (2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	540,000	381,105	0	158,895	70.6
予備費	30,000	0	0	30,000	0.0
<b>合 計</b>	<b>570,000</b>	<b>381,105</b>	<b>0</b>	<b>188,895</b>	<b>66.9</b>
28年度	565,000	394,229	0	170,771	69.8
比較増減	5,000	△13,124	0	18,124	△2.9ポイント
前年度対比	100.9	96.7	—	110.6	—

支出済額は 381,105 円で、予算現額に対して 66.9%の執行率である。  
 支出済額は、全額総務費である。  
 不用額は 188,895 円で、主なものは総務費である。

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地及び建物の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
原野(畑)	20,132	0	20,132	0	0	0

### (2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	6,011,000	△404,000	5,607,000

# 今井財産区特別会計

## 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 669,986 円に対する歳出決算額は 512,549 円で、歳入歳出差引残額 157,437 円が翌年度へ繰り越されている。

### (1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	182,000	180,466	180,466	0	0	99.2	100.0
繰越金	154,000	199,520	199,520	0	0	129.6	100.0
繰入金	346,000	290,000	290,000	0	0	83.8	100.0
諸収入	2,000	0	0	0	0	0.0	—
<b>合計</b>	<b>684,000</b>	<b>669,986</b>	<b>669,986</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>98.0</b>	<b>100.0</b>
28年度	689,000	699,072	699,072	0	0	101.5	100.0
比較増減	△5,000	△29,086	△29,086	0	0	△3.5 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	99.3	95.8	95.8	—	—	—	—

収入済額は 669,986 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、繰入金 290,000 円（構成比率 43.3%）である。

### (2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	674,000	512,549	0	161,451	76.0
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
<b>合計</b>	<b>684,000</b>	<b>512,549</b>	<b>0</b>	<b>171,451</b>	<b>74.9</b>
28年度	689,000	499,552	0	189,448	72.5
比較増減	△5,000	12,997	0	△17,997	2.4ポイント
前年度対比	99.3	102.6	—	90.5	—

支出済額は 512,549 円で、予算現額に対して 74.9%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

不用額は 171,451 円で、主なものは総務費である。

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	730,586	0	730,586	0	0	0
立 木 (m <sup>3</sup> ) (推定蓄積量)	14,684	73	14,757	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	27,900	0	27,900

### (2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	6,787,000	△290,000	6,497,000

# 信級財産区特別会計

## 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 491,617 円に対する歳出決算額は 56,085 円で、歳入歳出差引残額 435,532 円が翌年度へ繰り越されている。

### (1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	3,000	100	100	0	0	3.3	100.0
繰越金	200,000	491,513	491,513	0	0	245.8	100.0
諸収入	2,000	4	4	0	0	0.2	100.0
<b>合計</b>	<b>205,000</b>	<b>491,617</b>	<b>491,617</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>239.8</b>	<b>100.0</b>
28年度	205,000	551,403	551,403	0	0	269.0	100.0
比較増減	0	△59,786	△59,786	0	0	△29.2 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	100.0	89.2	89.2	—	—	—	—

収入済額は 491,617 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、繰越金 491,513 円（構成比率 99.9%）である。

### (2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	155,000	56,085	0	98,915	36.2
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
<b>合計</b>	<b>205,000</b>	<b>56,085</b>	<b>0</b>	<b>148,915</b>	<b>27.4</b>
28年度	205,000	59,890	0	145,110	29.2
比較増減	0	△3,805	0	3,805	△1.8ポイント
前年度対比	100.0	93.6	—	102.6	—

支出済額は 56,085 円で、予算現額に対して 27.4%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

不用額は 148,915 円で、主なものは総務費である。

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	367,950.00	0	367,950.00	0	0	0
原 野	157,940.00	0	157,940.00	0	0	0
保 安 林	41,475.00	0	41,475.00	0	0	0
雑 種 地	297.00	0	297.00	0	0	0
宅 地	39.66	0	39.66	0	0	0
田	36.00	0	36.00	0	0	0
畑	416.00	0	416.00	0	0	0
<b>合 計</b>	<b>568,153.66</b>	<b>0</b>	<b>568,153.66</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
立 木 (m <sup>3</sup> ) (推定蓄積量)	11,310.1	44.7	11,354.8	—	—	—

### (2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	1,000,000	0	1,000,000

# 日原財産区特別会計

## 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 248,879 円に対する歳出決算額は 34,890 円で、歳入歳出差引残額 213,989 円が翌年度へ繰り越されている。

### (1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	3,000	80	80	0	0	2.7	100.0
繰越金	116,000	248,797	248,797	0	0	214.5	100.0
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
<b>合 計</b>	<b>121,000</b>	<b>248,879</b>	<b>248,879</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>205.7</b>	<b>100.0</b>
28年度	120,000	285,877	285,877	0	0	238.2	100.0
比較増減	1,000	△36,998	△36,998	0	0	△32.5 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	100.8	87.1	87.1	—	—	—	—

収入済額は 248,879 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、繰越金 248,797 円（構成比率 99.9%）である。

### (2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	111,000	34,890	0	76,110	31.4
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
<b>合 計</b>	<b>121,000</b>	<b>34,890</b>	<b>0</b>	<b>86,110</b>	<b>28.8</b>
28年度	120,000	37,080	0	82,920	30.9
比較増減	1,000	△2,190	0	3,190	△2.1ポイント
前年度対比	100.8	94.1	—	103.8	—

支出済額は 34,890 円で、予算現額に対して 28.8%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

不用額は 86,110 円で、主なものは総務費である。

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	475,652	0	475,652	0	0	0
原 野	33,759	0	33,759	0	0	0
保 安 林	21,844	0	21,844	0	0	0
雑 種 地	224	0	224	0	0	0
畑	228	0	228	0	0	0
<b>合 計</b>	<b>531,707</b>	<b>0</b>	<b>531,707</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
立 木 (m <sup>3</sup> ) (推定蓄積量)	12,211.2	94.3	12,305.5	—	—	—

### (2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	800,000	0	800,000

## 第5 意見

財産収入の割合が少なく、繰越金や基金からの繰入金により運営を行っている財産区が多い。財産区本来の財産収入の確保について研究するとともに、財産収入が見込めない場合には、地元地区と協議し、財産区そのものの在り方について、引き続き検討されたい。

なお、今井財産区、信級財産区及び日原財産区については、権利変動の経過が財産台帳に記載されておらず、不明確な内容が散見されることから適切に整備されたい。

平成 29 年度

長野市東条財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

30監査第84号  
平成30年9月5日

長野市東条財産区  
長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員 鈴木栄一  
同 小澤輝彦  
同 三井経光  
同 池田清

平成29年度長野市東条財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された平成29年度長野市東条財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

# 目 次

## 平成 29 年度長野市東条財産区特別会計決算審査意見

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
1	決算の概況	2
2	財産に関する調書	3
第 5	意 見	3

- (注) 1 比率 (%) は、原則として小数点以下第二位を四捨五入した。  
2 構成比率 (%) は、合計が100となるよう一部調整した。

# 平成 29 年度長野市東条財産区特別会計決算審査意見

## 第 1 審査の対象

### 1 平成 29 年度長野市東条財産区特別会計決算

東条財産区特別会計歳入歳出決算書

### 2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

## 第 2 審査の期間

平成 30 年 6 月 29 日から 8 月 29 日まで

## 第 3 審査の方法

審査に当たっては、各財産区特別会計の決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

## 第 4 審査の結果

決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

## 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 532,187 円に対する歳出決算額は 346,542 円で、歳入歳出差引残額 185,645 円が翌年度へ繰り越されている。

### (1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
県支出金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
財産収入	4,000	2,900	2,900	0	0	72.5	100.0
繰越金	139,000	169,286	169,286	0	0	121.8	100.0
繰入金	360,000	360,000	360,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	1	1	0	0	0.1	100.0
<b>合 計</b>	<b>506,000</b>	<b>532,187</b>	<b>532,187</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>105.2</b>	<b>100.0</b>
28年度	627,000	597,386	597,386	0	0	95.3	100.0
比較増減	△121,000	△65,199	△65,199	0	0	9.9 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	80.7	89.1	89.1	—	—	—	—

収入済額は 532,187 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、繰入金 360,000 円（構成比率 67.6%）及び繰越金 169,286 円（同 31.8%）である。

### (2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	92,000	72,000	0	20,000	78.3
総務費	404,000	274,542	0	129,458	68.0
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
<b>合 計</b>	<b>506,000</b>	<b>346,542</b>	<b>0</b>	<b>159,458</b>	<b>68.5</b>
28年度	627,000	428,100	0	198,900	68.3
比較増減	△121,000	△81,558	0	△39,442	0.2ポイント
前年度対比	80.7	80.9	—	80.2	—

支出済額は 346,542 円で、予算現額に対して 68.5%の執行率である。  
 支出済額の主なものは、総務費 274,542 円（構成比率 79.2%）である。  
 不用額は 159,458 円で、主なものは総務費である。

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	16,179	0	16,179	0	0	0
宅 地	940	0	940	0	0	0
原 野	186,111	0	186,111	0	0	0
そ の 他	8,060	0	8,060	0	0	0
<b>合 計</b>	<b>211,290</b>	<b>0</b>	<b>211,290</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
立 木 (m <sup>3</sup> ) (推定蓄積量)	5,382	19	5,401	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長野森林組合	10,500	0	10,500

### (2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	19,246,851	△360,000	18,886,851

## 第5 意 見

現在の会計は、財産収入の割合が少なく、繰越金や基金からの繰入金により運営を行っている状態である。財産区本来の財産収入の確保について研究するとともに、財産収入が見込めない場合には、地元地区と協議し、財産区そのものの在り方について、引き続き検討されたい。

平成 29 年度

長野市西条財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

30監査第85号  
平成30年9月5日

長野市西条財産区  
長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員 鈴木栄一  
同 小澤輝彦  
同 三井経光  
同 池田清

平成29年度長野市西条財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された平成29年度長野市西条財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

# 目 次

## 平成 29 年度長野市西条財産区特別会計決算審査意見

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
1	決算の概況	2
2	財産に関する調書	3
第 5	意 見	4

- (注) 1 比率 (%) は、原則として小数点以下第二位を四捨五入した。  
2 構成比率 (%) は、合計が100となるよう一部調整した。

# 平成 29 年度長野市西条財産区特別会計決算審査意見

## 第 1 審査の対象

### 1 平成 29 年度長野市西条財産区特別会計決算

西条財産区特別会計歳入歳出決算書

### 2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

## 第 2 審査の期間

平成 30 年 6 月 29 日から 8 月 29 日まで

## 第 3 審査の方法

審査に当たっては、各財産区特別会計の決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

## 第 4 審査の結果

決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

## 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 1,527,876 円に対する歳出決算額は 842,547 円で、歳入歳出差引残額 685,329 円が翌年度へ繰り越されている。

### (1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
県支出金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
財産収入	123,000	103,276	103,276	0	0	84.0	100.0
繰越金	614,000	702,090	702,090	0	0	114.3	100.0
繰入金	647,000	647,000	647,000	0	0	100.0	100.0
分担金及び負担金	56,000	75,504	75,504	0	0	134.8	100.0
諸収入	2,000	6	6	0	0	0.3	100.0
<b>合 計</b>	<b>1,443,000</b>	<b>1,527,876</b>	<b>1,527,876</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>105.9</b>	<b>100.0</b>
28年度	1,490,000	1,678,356	1,678,356	0	0	112.6	100.0
比較増減	△47,000	△150,480	△150,480	0	0	△6.7 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	96.8	91.0	91.0	—	—	—	—

収入済額は 1,527,876 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、繰越金 702,090 円(構成比率 46.0%)及び繰入金 647,000 円(同 42.3%)である。

### (2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	403,000	382,800	0	20,200	95.0
総務費	606,000	350,407	0	255,593	57.8
林業費	298,000	109,340	0	188,660	36.7
林道費	86,000	0	0	86,000	0.0
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
<b>合 計</b>	<b>1,443,000</b>	<b>842,547</b>	<b>0</b>	<b>600,453</b>	<b>58.4</b>
28年度	1,490,000	976,266	0	513,734	65.5
比較増減	△47,000	△133,719	0	86,719	△7.1ポイント
前年度対比	96.8	86.3	—	116.9	—

支出済額は 842,547 円で、予算現額に対して 58.4%の執行率である。

支出済額の主なものは、議会費 382,800 円（構成比率 45.4%）及び総務費 350,407 円（同 41.6%）である。

不用額は 600,453 円で、主なものは総務費である。

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	576,525	0	576,525	0	0	0
原 野	594,338	0	594,338	0	0	0
事 務 所	528	0	528	447	0	447
<b>合 計</b>	<b>1,171,391</b>	<b>0</b>	<b>1,171,391</b>	<b>447</b>	<b>0</b>	<b>447</b>
立 木 (m <sup>3</sup> ) (推定蓄積量)	84,539.5	225.73	84,765.23	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	733,000	0	733,000
長野県林業センター	100,000	0	100,000
<b>合 計</b>	<b>833,000</b>	<b>0</b>	<b>833,000</b>

### (2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	25,500,000	△647,000	24,853,000

## 第5 意見

西条財産区においては、地元小学校やPTAなどと連携して植樹活動を行うなど、財産の維持及び財産区の理解促進に取り組んでいる。

財産を継続管理していくため、引き続き活動に努めるとともに、財産区本来の財産収入の確保についても研究されたい。

平成 29 年度

長野市大岡中牧財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

30監査第86号  
平成30年9月5日

長野市大岡中牧財産区  
長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員 鈴木栄一  
同 小澤輝彦  
同 三井経光  
同 池田清

平成29年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された平成29年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

# 目 次

## 平成 29 年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算審査意見

第 1	審査の対象 .....	1
第 2	審査の期間 .....	1
第 3	審査の方法 .....	1
第 4	審査の結果 .....	1
1	決算の概況 .....	2
2	財産に関する調書 .....	3
第 5	意 見 .....	4

- (注) 1 比率 (%) は、原則として小数点以下第二位を四捨五入した。  
2 構成比率 (%) は、合計が100となるよう一部調整した。

# 平成 29 年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算審査意見

## 第 1 審査の対象

### 1 平成 29 年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算

大岡中牧財産区特別会計歳入歳出決算書

### 2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

## 第 2 審査の期間

平成 30 年 6 月 29 日から 8 月 29 日まで

## 第 3 審査の方法

審査に当たっては、各財産区特別会計の決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

## 第 4 審査の結果

決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

## 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 7,575,082 円に対する歳出決算額は 7,294,389 円で、歳入歳出差引残額 280,693 円が翌年度へ繰り越されている。

### (1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	5,325,000	5,320,258	5,320,258	0	0	99.9	100.0
繰入金	2,001,000	2,000,000	2,000,000	0	0	100.0	100.0
繰越金	200,000	234,951	234,951	0	0	117.5	100.0
諸収入	2,000	19,873	19,873	0	0	993.7	100.0
<b>合 計</b>	<b>7,528,000</b>	<b>7,575,082</b>	<b>7,575,082</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>100.6</b>	<b>100.0</b>
28年度	13,884,000	13,970,580	13,970,580	0	0	100.6	100.0
比較増減	△6,356,000	△6,395,498	△6,395,498	0	0	0.0 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	54.2	54.2	54.2	—	—	—	—

収入済額は 7,575,082 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、財産収入 5,320,258 円（構成比率 70.2%）である。

### (2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	205,000	184,960	0	20,040	90.2
総務費	7,273,000	7,109,429	0	163,571	97.8
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
<b>合 計</b>	<b>7,528,000</b>	<b>7,294,389</b>	<b>0</b>	<b>233,611</b>	<b>96.9</b>
28年度	13,884,000	13,735,629	0	148,371	98.9
比較増減	△6,356,000	△6,441,240	0	85,240	△2.0ポイント
前年度対比	54.2	53.1	—	157.5	—

支出済額は 7,294,389 円で、予算現額に対して 96.9%の執行率である。

支出済額の主なものは、総務費 7,109,429 円（構成比率 97.5%）である。

不用額は 233,611 円で、主なものは総務費である。

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	2,953,615	0	2,953,615	0	0	0
立 木 (m <sup>3</sup> ) (推定蓄積量)	42,150.57	0	42,150.57	—	—	—

※信州新町中牧財産区と共有 大岡中牧財産区分は 737/1,000

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	176,000	0	176,000

### (2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	18,528,523	3,660,586	22,189,109
有価証券	12,000,000	△2,000,000	10,000,000
<b>合 計</b>	<b>30,528,523</b>	<b>1,660,586</b>	<b>32,189,109</b>

### (3) 管理財産

管理財産の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
山 林	151,102	0	151,102

※信州新町中牧財産区と共有 大岡中牧財産区分は 737/1,000

## 第5 意 見

公有財産の土地及び管理財産が信州新町中牧財産区と共有となっているため、中牧財産区協議会を設置し、共有財産の管理及び処分又は廃止に関する事務を行っている。

協議会の運営に伴い委員報酬が発生しているが、財産区の一元的な管理により経費の削減が考えられることから、合理的な財産区の管理運営について、引き続き検討されたい。

平成 29 年度

長野市信州新町中牧財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

30監査第87号  
平成30年9月5日

長野市信州新町中牧財産区  
長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員 鈴木栄一  
同 小澤輝彦  
同 三井経光  
同 池田清

平成29年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された平成29年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

# 目 次

## 平成 29 年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算審査意見

第 1	審査の対象 .....	1
第 2	審査の期間 .....	1
第 3	審査の方法 .....	1
第 4	審査の結果 .....	1
1	決算の概況 .....	2
2	財産に関する調書 .....	3
第 5	意 見 .....	4

(注) 1 比率 (%) は、原則として小数点以下第二位を四捨五入した。

2 構成比率 (%) は、合計が100となるよう一部調整した。

# 平成 29 年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算審査意見

## 第 1 審査の対象

### 1 平成 29 年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算

信州新町中牧財産区特別会計歳入歳出決算書

### 2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

## 第 2 審査の期間

平成 30 年 6 月 29 日から 8 月 29 日まで

## 第 3 審査の方法

審査に当たっては、各財産区特別会計の決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

## 第 4 審査の結果

決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

## 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 2,559,841 円に対する歳出決算額は 1,402,793 円で、歳入歳出差引残額 1,157,048 円が翌年度へ繰り越されている。

### (1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	1,866,000	1,868,194	1,868,194	0	0	100.1	100.0
繰入金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
繰越金	579,000	684,560	684,560	0	0	118.2	100.0
諸収入	2,000	7,087	7,087	0	0	354.4	100.0
<b>合 計</b>	<b>2,448,000</b>	<b>2,559,841</b>	<b>2,559,841</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>104.6</b>	<b>100.0</b>
28年度	3,449,000	2,874,407	2,874,407	0	0	83.3	100.0
比較増減	△1,001,000	△314,566	△314,566	0	0	21.3 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	71.0	89.1	89.1	—	—	—	—

収入済額は 2,559,841 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、財産収入 1,868,194 円（構成比率 73.0%）である。

### (2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	292,000	170,556	0	121,444	58.4
総務費	1,956,000	1,232,237	0	723,763	63.0
予備費	200,000	0	0	200,000	0.0
<b>合 計</b>	<b>2,448,000</b>	<b>1,402,793</b>	<b>0</b>	<b>1,045,207</b>	<b>57.3</b>
28年度	3,449,000	2,189,847	0	1,259,153	63.5
比較増減	△1,001,000	△787,054	0	△213,946	△6.2ポイント
前年度対比	71.0	64.1	—	83.0	—

支出済額は 1,402,793 円で、予算現額に対して 57.3%の執行率である。

支出済額の主なものは、総務費 1,232,237 円（構成比率 87.8%）である。

不用額は 1,045,207 円で、主なものは総務費である。

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	2,953,615	0	2,953,615	0	0	0
立 木 (m <sup>3</sup> ) (推定蓄積量)	42,150.57	0	42,150.57	—	—	—

※大岡中牧財産区と共有 信州新町中牧財産区分は 263/1,000

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	62,800	0	62,800

### (2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	4,818,000	0	4,818,000

### (3) 管理財産

管理財産の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
山 林	151,102	0	151,102

※大岡中牧財産区と共有 信州新町中牧財産区分は 263/1,000

## 第5 意 見

公有財産の土地及び管理財産が大岡中牧財産区と共有となっているため、中牧財産区協議会を設置し、共有財産の管理及び処分又は廃止に関する事務を行っている。

協議会の運営に伴い委員報酬が発生しているが、財産区の一元的な管理により経費の削減が考えられることから、合理的な財産区の管理運営について、引き続き検討されたい。